

# 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 **成果報告会 発表資料**

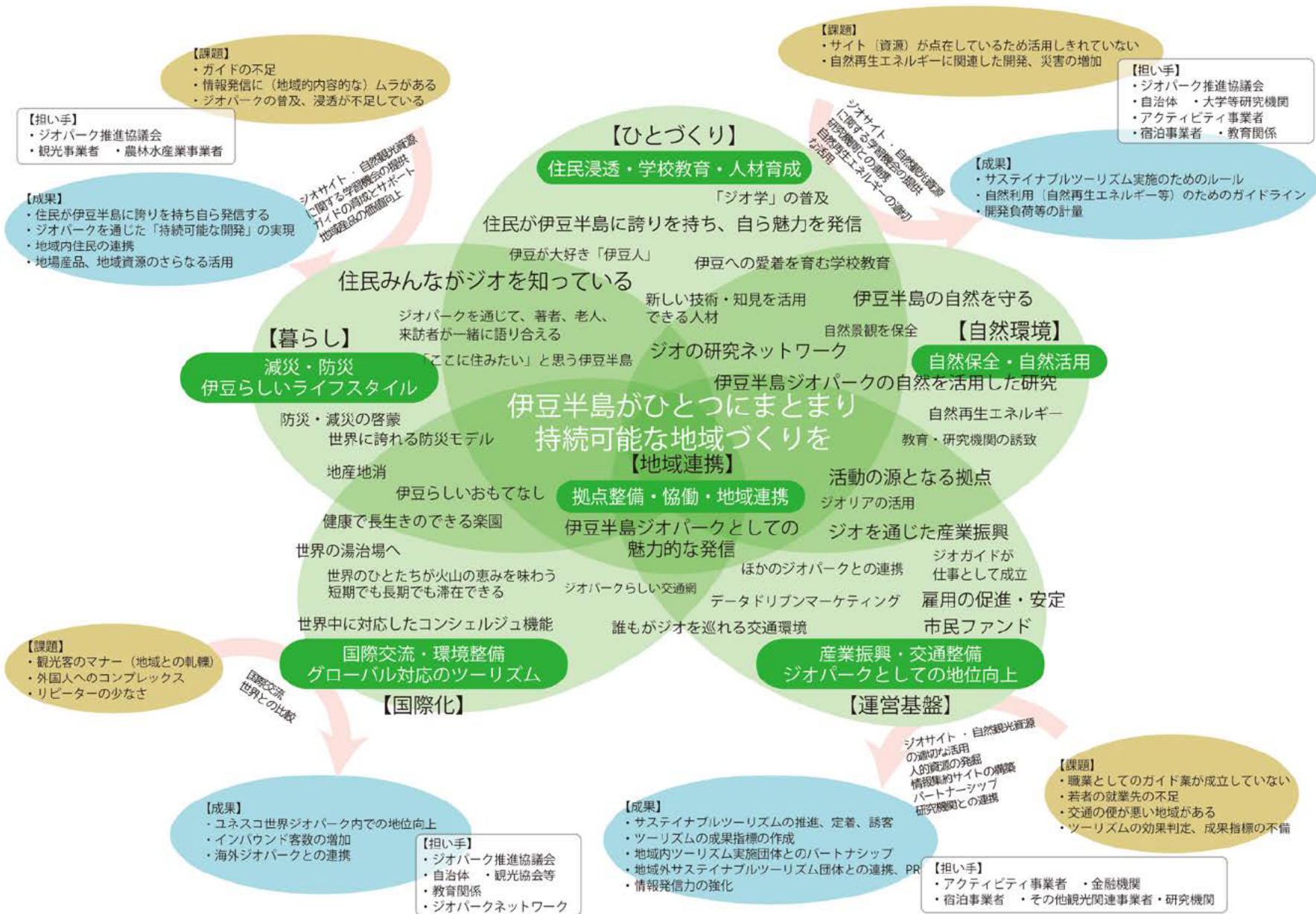
活動団体名：伊豆半島ジオパーク推進協議会

活動地域：伊豆半島15市町（熱海市，伊東市，下田市，三島市，伊豆市，伊豆の国市，沼津市，函南町，西伊豆町，松崎町，南伊豆町，東伊豆町，河津町，清水町，長泉町）

活動におけるテーマ

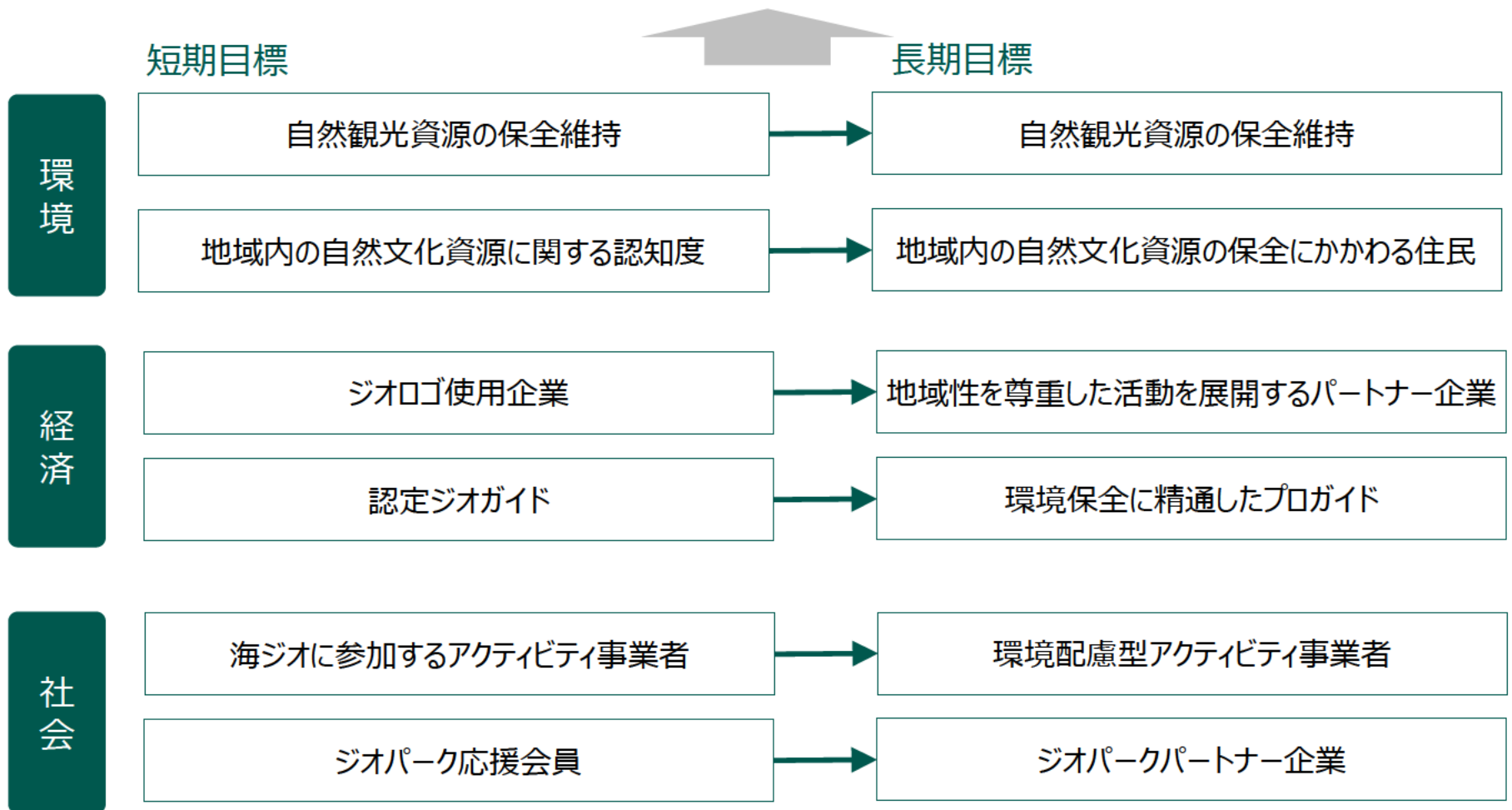
## サステイナブルツーリズムの推進

# 地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿



# 地域のビジョンを実現するための成果指標

伊豆半島の地域性を尊重した観光開発をジオパークおよびサステイナブルツーリズムの文脈において推進することにより、将来世代も現世代と同様に伊豆半島の自然環境と地域文化を観光で親しみ続けることができるような地域を目指す。



# コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	パートナーシップと連携の強化	
	事業の概要	<p>持続可能な観光に寄与するパートナーシップを、アクティビティ/ツアー事業者と締結し共に活動/PRすることで環境に対して低負荷かつ経済的に成立する観光へ転換する契機とする。また、関連する業種（宿泊や運送、農林水産業、製造業）へもパートナーシップを広げていき、地産地消の促進や食品ロスの低減、エネルギーの効率化なども目指していきたい。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>サステナブル・ツーリズムを合目的的に実現していくためのパートナーを特定して、さまざまに連携・協働していく必要があるが、重要な役割を担うパートナーを見逃してしまったり、目的にそぐわない事業者とパートナーになってしまう恐れがある。</p>
2	事業の名称	サステナブル・ツーリズム推進のためのツアー情報集約サイトの構築	
	事業の概要	<p>環境維持活動と観光サービス提供の両方を行う事業者が伊豆半島内には存在する。ジオパークではそういった事業者の活動をサポートする。具体的にはツアーを中心とした情報集約サイトを構築し、アクティビティに参加する訪問者の数を増やし、環境に対して低負荷な形であっても適切な収入が得られるという姿を示す。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティの魅力的な見せ方</li> <li>・季節変動による需要格差の平準化（サービス利用者減少に伴う雇用調整、担い手の減少など）</li> </ul>
3	事業の名称	事業効果を評価するための調査手法の開発	
	事業の概要	<p>15市町という広がりの中における環境影響や経済的な面に対する事業の効果をできるだけ定量的に把握するための調査手法を開発したい。そのためにはwebアンケートの実施、IoT機器の導入など、比較的容易でかつ低予算で実施できる方法を模索したい。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>地域内の力で継続的に実施できるモニタリング・評価手法が不足している。</p>



# 今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

## 今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- マンダラは重要な事項を整理・抽出し目標値を決めるためのツールとして有用であった。
- 実際に現場で自然環境と向き合いながら活動しているアクティビティ事業者等と具体的な関係性を持たせたことで、ジオパークの活動をより地に足の着いた活動としていけるようになった。
- 多数の意見を集めながら進めていく事業であったため、当初計画を適宜修正しても良いという運営は事業を進めるうえでよかった。

## 今後の意気込み

- 情報集約サイト4月1日オープン予定！  
詳しくは伊豆半島ジオパークウェブサイトへ
- 本事業を反映した基本計画・行動計画を近日策定。
- 優良事例を蓄積するので遊びに来てください。
- 次は「責任ある旅行者」の育成に取り組みます。

## 地域の活動の上での課題

- マンダラは実現可能性や効果の有無についてはあまり考慮されない。多くの意見から成る将来像に対して、何が最も効果的なのかを判断し、成果指標を設定していく過程をどのようにしたらよいかわからなかった。
- 特に長期指標について定量的な指標を設定するのは困難と感じた。
- 地域経済循環分析等によって抽出したマクロな地域課題と組織として取り組んでいけることとの間に隔たりがあると感じた。

